

## 平成 21 年度事業について

## 1. 地域連携に必要な新規路線の導入

## (1) 実証運行の概要

路線名：川辺堀之内路線

起・終点：高幡不動駅⇔豊田駅南口

運行開始日：平成 21 年 5 月 17 日（日）

運行本数：8 往復（9:00～17:00）

運賃：初乗り 170 円、最大 200 円

（豊田駅南口⇔豊田一丁目は 100 円）

運行事業者：京王電鉄バス(株)

当該路線の実証運行にあたり、市立第二小学校の協力をいただき、車内アナウンス等を児童の声で実施しています。これは、都内初の取り組みです。また、同小学校児童がミニバスを写生した絵画展を来年2月下旬まで、運行中の車内にて実施しています。

## (2) 利用状況

1 日あたり輸送人員 117.1 人／日

1 便あたり輸送人員 14.6 人／日

## (3) 評価調査

件 名：日野市ミニバス川辺堀之内路線実証運行に伴う評価調査業務委託

概 要：実証運行の利用状況の調査、評価や見直しを検討し、地域連携の向上を目的として実施する

調査内容：沿線・利用者アンケート調査及びOD調査

## 2. 路線再編（乗り継ぎ抵抗軽減策の実証実験）

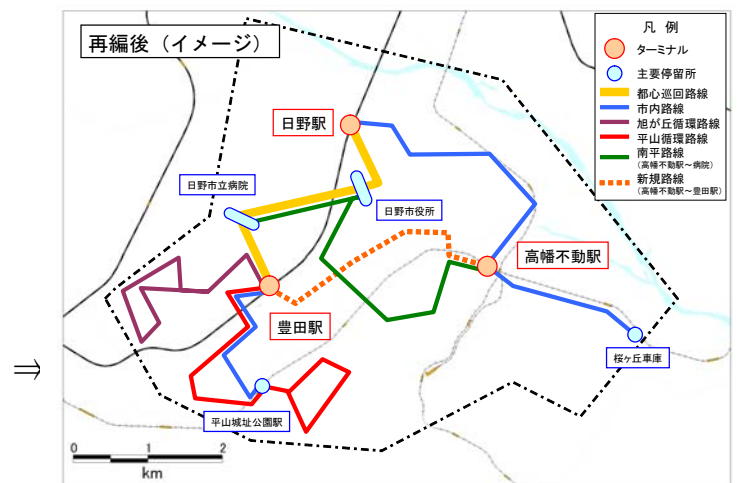
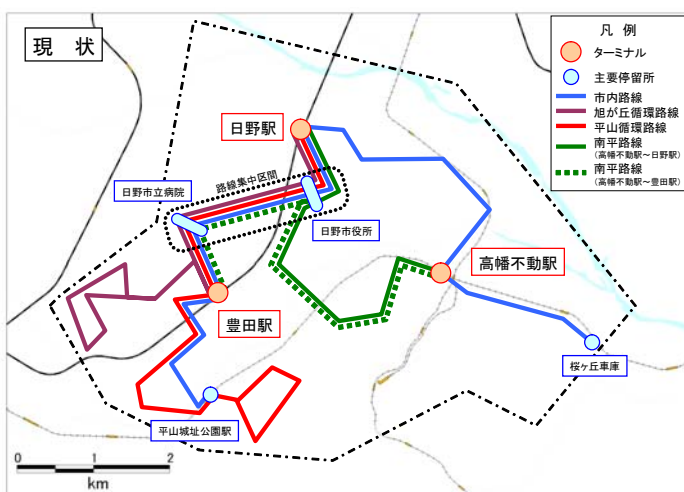
## (1) 路線再編の具体的検討

対象：日野駅～豊田駅間におけるミニバスの重複

実践女子短大～日野駅間におけるミニバスと路線バスの競合

都市計画道路の整備に伴う新たな路線配置

地域の路線設置要望



## (2) PR方法の検討

「これで安心！バス de 行こう」プログラム」

- ①不安解消～まずは乗ってみよう～
- ②路線 PR～いろんなところへ行ける～
- ③さまざまな工夫～もっと便利に～

に基づく路線網図の作成及び配布方法の検討

## (3) 乗り継ぎ抵抗軽減策の具体的検討

再編に伴う以下の乗り継ぎ抵抗軽減策の実施について具体的に検討する。

- ①乗り継ぎターミナル整備の検討
  - ターミナルの再配置(降りた場所に乗り継ぎバスが到着するよう配置)
- ②乗り継ぎ割引
  - 乗り継ぎの方法及び運賃の検討
- ③乗り継ぎ情報提供の検討
  - 乗り継ぎ方法のPRの検討(「これで安心！バス de 行こう」プログラム関連)
  - バス接近情報表示システムの検討
- ④誤乗車防止策の検討
  - 方向幕の着色(路線別に色分け)
  - 路線名略称設定(アルファベット 1 文字)とバス停ポールへの記載

## 3. 丘陵地ワゴンタクシーの見直し

- 現行サービスの見直し検討
- デマンド型を含めた交通システムの具体的検討

4. 平成21年度交通会議のスケジュール

